Ｂ－ＤＡＳＨプロジェクトの実証施設の運転開始について

このたび、国土交通省が進める「下水道事業における大幅なコスト縮減や再生可能エネルギー創出」等を目的としたＢ－ＤＡＳＨプロジェクトの実証施設が、国土技術政策総合研究所の委託研究により松山市西部浄化センター内に完成し、実証運転が開始されることとなりました。

１．実証運転の内容

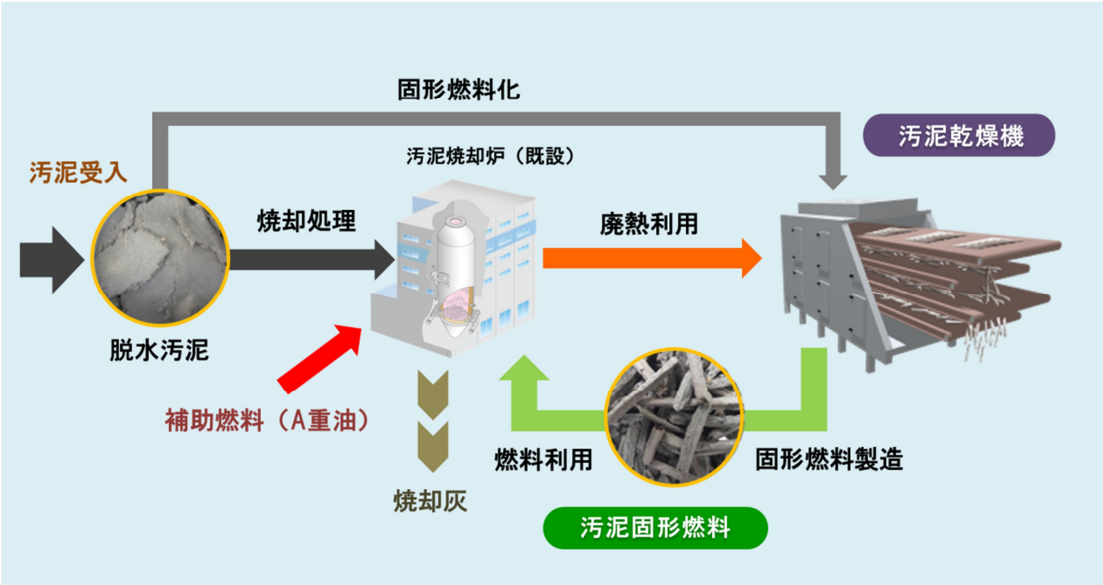
松山市西部浄化センター内の既設汚泥焼却炉の隣に汚泥乾燥機（表面固化乾燥装置）を設置し、焼却炉の廃熱を利用して、下水汚泥から固形燃料を製造します。

また、製造した汚泥固形燃料を、現在稼働している汚泥焼却炉の補助燃料に利用し、燃焼効果の確認等を行います。

なお、松山市は建設場所を提供し、実証施設は国土技術政策総合研究所から JFE エンジニアリング(株)への委託研究（研究名：「廃熱利用型 低コスト下水汚泥固形燃料化技術実証研究」）により設置されます。

２．事業効果等

（１）製造される固形燃料を汚泥焼却炉の補助燃料とすることで、現在使用している重油の量を大幅に削減することが可能となり、維持管理経費の低減となります。

（２）先進的な環境技術への貢献や、地球温暖化ガスの減量化が図られます。

３．実証事業イメージ図